



復刊第137号  
題字 吉岡 弥生

巻頭言

会長 山崎 倫子

あけましておめでとうございます。先生方にはご清祥に新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

長雨、冷夏、日照不足等の天候不順によってもたらされた数十年来といわれる米の不作に見舞われ、稲作農家にとってはもとより米を主食とする日本人にとっては深刻な問題を生じております。米食を基礎にした日本型食生活こそが成人病予防にまた生涯の健康維持にとって最適であることが証明されている折から今こそ農業政策、食糧政策の反省と転換が求められているように思われます。また、ゼネコン汚職と政治の腐敗は止まるところを知らず次々に露呈されてきております。政治家のこだわり、不正と怠慢に不信と憤りを感じさせられます。

この間、事務員の交代、事務機器の導入と移動(部屋の交換)並びに整備に汗を流しました。

またかねてから見直しを必要としていた年金事業も安田信託関係者および年金担当理事一同会を重ね、検討の結果、先頃お送りした年金事業の現状と今後の運営についてお知らせすることができました。ご案内の通りほかの年金とは比較にならない優利な運営と自負しております。十分ご検討の上ご加入のお奨めをいたす次第でございます。

総会でお図りした諸事業が少し遅れていましたが十一月二十三日はM.R.S.A.についてのワーク・ショップが行われました。抗生物質の発見により細菌感染症は克服できたという神話が崩れ、抗生物質がかえって難治性の感染症を招いてしまった今日、どう対応し予防してゆくか勉強いたしました。

さて、ここで一つお知らせしておきたいことがあります。この事は昨年来たたびたび理事会でも話しあってきた定款の見直しについてでございます。今まで制度としてあった常任理事会をなくし理事会だけに、毎月/の理事会において会務を執行する。については理事の数を削減、必要に応じて委員会を設け、より多くの会員に会務にたずさわっていただくなど、思いきった能率的な運営を考えております。目下定款委員会で活発に論議し、検討を進めております。先般臨時評議員会を開き途中経過を

もくじ

巻頭言	山崎 倫子 (1)
平成5年度第1回シンポジウム・M.R.S.A. 現状と対策	青木 泰子 (2)
M.R.S.A. 感染症の現状と対策	青木 泰子 (2)
老人ホームにおけるM.R.S.A. 感染の現状と対策	青井 禮子 (3)
ICUにおける院内感染防止について	今村富美子 (6)
保健所現場からのM.R.S.A.	太田記代子 (7)
第四回公開講演会(於・横浜)	加藤七五三子 (8)
支部だより	
埼玉支部だより	関根 みよ (9)
短歌	
国際女医会に出席して	三神 美和 (8)
近詠(平成五年)	山本美代子 (9)
私の大学	
北海道大学医学部	小田 泰子 (9)
私のトルコ紀行	稲生 襄 (10)
理事会議事録	
会員動静	
編集後記	(12)

お話し申し上げた次第です。定款につきましては軽々に扱ってはならないことを心して、理事各位、評議員の皆さまのご意見を聞き悔いを残すことなく原案をまとめ、五月の総会で提案、ご審議いただきコンセンサスを得られることを願っています。新春に当り諸先生のご健勝とご多幸を祈念し、日本女医学会の発展に向けて一層のご協力を賜われますようお願い申し上げます。

# MRSA—現状と対策

●平成5年度第1回シンポジウム(参加者七七名)  
●平成5年11月23日(火)東京シテイクラブ

## MRSA感染症の現状と対策

筑波大学臨床医学系

講師 青木 泰子

### 1 MRSAの定義

MRSAとはペニシリンナーゼ産生黄色ブドウ球菌用ペニシリン(methicillin, oxacillin, cloxacillin 等)に耐性を示す黄色ブドウ球菌と定義されている。その耐性機構は感受性菌には見られないペニシリン結合蛋白(PBP-2)の新生によること、PBP-2の産生はmeca遺伝子によって支配されることが明らかにされている。MRSAはブドウ球菌ペニシリンだけではなく、基本的にはすべてのβ-ラクタム剤に耐性であり、また、一部のMRSAではβ-ラクタム剤との接触により耐性が誘導されることが解明されている。したがって、治療や予防の点で、従来の広域スペクトラムβ-ラクタム剤を中心とする考え方では対処し難い面がある。

### 2 MRSAの頻度

MRSAの検出率は施設の規模や性格により異なり、病床数も多く、重症患者を多く扱う施設で頻度が高い。また、入院患者で外来患者より高い。一九九〇年の全国の国立大学病院を対象とした調査では、MRSAの黄ブ菌中の頻度は52%(入院患者で65%)であった。近年、緑膿菌を含むグラム陰性桿菌に対しては優れた薬剤が多く開発されたこともあって、敗血症の分離菌でもMRSAを初めとするグラム陽性球菌の頻度が増加している。頻度の点からも患者の予後に与える影響からも、MRSAは現在の日本における院内感染の最重要起因菌と考えられる。

### 3 MRSA感染症の治療上の問題点

院内感染起因菌となるようないわゆる弱毒菌の常として、MRSAは菌が分離される患者のすべてで感染症の起因菌であるわけではない。院内環境によるcolonizationや、抗菌薬の先行投与による菌交代現象の結果検出されているに過ぎない場合も多い。筑波大学附属病院でMRSAが分離された患者について検討してみた結果、抗菌薬投与の適応となる

ような全身性感染と考えられる症例は約30%であり、内科系患者に限定するとさらに低率であった。内科系患者のMRSA感染の典型例としては、悪性腫瘍、特に肺癌、慢性呼吸器疾患の終末期に合併する肺炎、血液疾患等の好中球減少例の敗血症、カテーテル挿入などの外科処置に伴う感染が多い。当院では症例が少なかったが、寝たきり老人の褥瘡や誤嚥性肺炎もMRSA感染の頻度が高い。MRSA分離例では症例ごとに起因菌としての意義を吟味して対処を決める必要がある。

### 4 MRSA感染症に対する抗菌薬療法

第一選択はvancomycin(VCM)または, teicoplanin(ATK)である。VCMは古くから欧米でペニシリン耐性グラム陽性球菌に対して用いられており、本邦では開発が遅れていたが、一昨年にMRSA感染症に対する治療薬として承認された。臨床試験では他抗菌薬の無効例に対しては優れた治療成績を示した。ATKは本邦で開発されたアミノグリコシド系薬で、使用実績は浅いが、臨床効果はVCMとほぼ同等と考えられる。現在のところ、VCMやATK耐性のMRSAはほとんど見いだされていないが、その治療成績は必ずしも満足すべきものではない。VCM

Mは短時間の殺菌力が弱いこと、ABKは血中濃度とMICが近似していることが一因かと考えられ、さらに優れた治療法の確立が望まれる。両剤とも副作用として腎毒性に注意が必要で、血中濃度を測定しながら投与方法を定める配慮が望ましい。ほかに、ST合剤注射薬、開発中のteicoplaninも期待される薬剤である。minocycline、キノロン系薬剤、β-ラクタムとfosfomycin併用などは、現在の分離株の多くを占める高度耐性株に対して用いるべき薬剤ではない。

### (内因性感染防止)の双方が必要である。

症例ごとに感染源としての危険性や、逆にMRSAに感染するリスクが異なるので、それらを配慮して隔離や逆隔離を行う。最近、MRSA対策に熱中するあまり、極端な隔離が他の治療の妨げとなったり(高齢者でホケがすすむ等)、医療サービスの公平を欠いたり、また、適応症例にも第三世代セフェム、カルバペネムなどの広域スペクトラム抗菌薬が投与されないなどの行き過ぎも一部で指摘されている。一方ではMRSA感染による不利益を強く被る症例が確かにあり、TPOに応じた対策の必要性が強く認識されている。本邦では院内感染対策はさまざまな意味で未成熟であり、MRSA問題を契機として抜本的な方策の確立が望まれる。

### 5 院内感染対策

感染経路を遮断すること(水平感染防止)、広域スペクトラム抗菌薬投与やカテーテル留置などの感染のリスクとなる処置を必要最小限に限る

## 老人ホームにおけるMRSA感染の現状と対策

江戸川病院高砂分院

院長 青井 禮子

老人ホームには経済的あるいは社会的理由により利用される養護老人ホーム、軽費老人ホーム、有料老人ホームと、身体的あるいは精神的理由で常時介護を要する方々の利用される特別養護老人ホーム、盲老人ホーム、ナーシングホーム等がありま

す。私どもの水元施設には養護老人ホーム一施設(一四〇床)と特別養護老人ホーム四施設(三三五床)がありますので、それらにおけるMRSA感染症の発症状況と対策について申し上げます。特別養護老人ホーム(特養)には

## 告示

日本女医学会定款第二十四条に基づき、平成六年五月二十九日(日)・京王プラザホテルにおいて、平成五年度定時総会を開催いたします。同時に第十五条の規定により、現役員任期満了に伴う役員選挙を行います。なお、立候補の届出は、定款施行規則第十九条により、平成六年三月三十日、本部に必着を厳守願います。

### 選挙に関する定款および定款施行規則の抜萃

定款第十四条 理事三十名以上三十五名以内  
(内会長一名、副会長三名、常任理事十二名) 監事三名  
定款施行規則第七条 選挙人は、選挙の九十日前までの正会員とする。被選挙人は、入会後三年経た正会員とし、会費完納者とする。  
定款施行規則第十九条 立候補者は、選挙の告示があった日から選挙の日の六十日前までに立候補届を文書で理事会に届出なければならぬ。  
届出書類  
(一) 立候補届  
(二) 規定の履歴書  
立候補届出に関する書類(一)、(二)は、本部にあります。お申し込み次第お送りいたします。立候補は、自薦のみです。

## 社団法人 日本女医学会第二十九回定時総会のお知らせ

新しい年を迎え、諸先生方にはご清祥にてご活躍のこととお慶び申し上げます。

第三十九回日本女医学会定時総会は、東京において左記の日程にしたいが、開催いたします。

今年には日本女医学会役員改選の年でございますので、皆様お誘い合せの上、是非ご出席を賜りますようお願い申し上げます。

なお、今回は東京都支部連合会が別記のように東京ならではの楽しい行事を設営していただきましたので多数のご参加をお待ちいたしております。

日本女医学会長 山崎 倫子

日時 平成6年5月29日(日)  
場所 京王プラザホテル

〒160 東京都新宿区西新宿一二二一  
電話 〇三三三四四一〇一一

評議員会 午前10時〜12時(昼食を含む)  
選挙 午後1時〜3時  
総会 午後3時  
総会終了後懇親会  
会費 一〇,〇〇〇円  
社団法人 日本女医学会

### 評議員および予備評議員の改選

定款施行規則第二十六条により各支部において、評議員一名、予備評議員一名(再任可)を選出され、平成6年3月末日までに本部にお届け下さい。なお、新評議員および新予備評議員の任期は、平成6年4月1日から平成9年3月31日となります。 社団法人 日本女医学会

### 東京都支部連合会企画による行事

#### ■5月28日(土)

- 一、講演会(予定)  
二、ディナークルージング  
初夏のさわやかな風に吹かれながら、東京湾の夜景をバックに、豪華客船でのディナーはいかがですか。\*費用二万円くらい。  
三、吉原松葉屋「おいらんショー」  
江戸時代の夢のようなお大尽の遊びを味わってみませんか。\*費用一万五千円くらい。  
四、観劇 東京宝塚劇場 夜の部  
森繁久弥主演「赤ひげ診療譚」  
名優の至芸に酔いしれるのも一興と存じます。\*費用一万五千円くらい。  
(二)、三、四、はいずれも食事付です)

#### ■5月29日(日)

- 一、朝食会(東京都支部連合会会長招待)  
懐かしい方々と久方ぶりで楽しく、朝食をご一緒しましょう。  
(ホテルに宿泊なさらない方も、ぜひご参加ください)  
二、お茶席  
おいしいお菓子とお抹茶で、疲れを癒してください。  
三、余興  
懇親会にご出席の皆さまに、当代の名子役中村勘太郎、七之助兄弟による日舞をご覧に入れます。どうぞお楽しみに。  
(なお、28日の企画につきましては、参加者が少ないときは中止することがあります。)

財団法人 日本女医学会  
東京都支部連合会

表2 MRS A感染者9名の内訳

Table with 7 columns: No., 性, 年齢, 基礎疾患, 合併症, 転起, MRS A証明検体, 時期. Lists 9 cases of MRS A infection with details on patient characteristics and clinical course.

表3-1 特別養護老人ホームの処遇基準

Table detailing care standards for special nursing homes, including hygiene (washing, hair, nails), clothing, bathing, and health management.

表3-2 特別養護老人ホームの環境衛生基準

Table detailing environmental and hygiene standards for special nursing homes, covering ventilation, cleaning, disinfection, and toilet facilities.

表5 対策

- List of 8 strategies for MRS A infection control, such as 'Omu-tsushiki should be clean and dry', 'Change Omu-tsushiki frequently!', and 'Pay attention to nutrition'.

表4 寝たきり老人の問題点

- List of 7 problems for bedridden elderly, such as 'Insufficient bathing', 'Too many Omu-tsushiki', and 'Poor nutrition'.

表1 MRS A保菌状態と感染の発症の危険因子

Table showing risk factors for MRS A infection across different care settings (nursing homes, special nursing homes, etc.), including age, comorbidities, and antibiotic use.

Textual analysis of MRS A infection risk factors, discussing the relationship between nursing home type, patient age, and the presence of comorbidities like stroke or diabetes.

M R S A の特徴

1. 黄色ブドウ球菌が突然変異により種々の薬剤に耐性になったものである
2. 第3世代セフェム中心の医療の中での産物である
3. プ菌の細胞膜に「ペニシリンと結合する蛋白-PBP」があり、それからPBP2'が作られた。PBP2'のあるものがMRSAであり、第3世代セフェムによって過剰に作られ、種々の薬剤が無効になる
4. MRSAは院内感染の原因菌として重要であるが、市中感染へと波及しつつある
5. 全国平均35%のブ菌がMRSAであるが、最近80%という施設もある
6. MRSAの分離部位は外傷の膿、アポ患者の褥瘡、気管切開、痰、鼻汁など
7. 特徴は術後感染、環境感染、呼吸器科、耳鼻科領域由来が多い
8. compromised host (易感染者)に感染症を起こしやすい
9. 医師・看護婦の鼻腔や手指に定着していることが多い
10. 床、ベッド、白衣、医療器具、チューブなどから発見されることがある
11. 殺菌剤はポビドンヨード (イソジン) が最も良いが、アルコールも良い
12. 単剤での治療は困難な場合が多く、併用療法が望ましい

佐賀医大・只野寿太郎教授による

鼻腔前庭の消毒について

- ① 一般的注意
  - ・常日ごろから鼻毛を切って、鼻腔前庭を清潔にしておく
  - ・消毒前にはきちんと鼻をかむ
- ② 使用薬剤について
  - ・粘膜面に使用可能で、全身投与に使用されていない、耐性菌発現の可能性が少ない、という条件を満たすものは現在ポビドンヨード剤しかわが国にはない
  - ・5%産婦人科用イソジンクリームが刺激が少なく使用しやすい
  - ・消毒剤と微生物をいかに多く接触させるか考えて塗布する

佐賀医大・只野寿太郎教授による

MRSAによる院内感染防止対策

対象	対策
医 師 婦 科 患 者	①専用の白衣、マスクを着用 ②事後にヒビテン・アルコールで手指消毒 ③出来るだけ最後にMRSA患者に接する
患 者	MRSA患者と免疫不全患者の同室不可
医 療 器 具	高圧またはガス滅菌
寝 具、寝 衣	交換時に高圧滅菌
包 帯 材 料	焼却

佐賀医大・只野寿太郎教授による

保健所現場からのMRSA

佐賀県鳥栖保健所 所長 太田 記代子

保健所は現在、治療する所ではありませんので、MRSAとの関りも臨床の先生方とは異なります。今までの保健所のMRSAとの関りとは今後の役割を考えてみます。他の業務と同様に、MRSAについての問合せが電話などでかなりありました。主なものを列記します。

- 1 MRSAという言葉を知ることがどのようなものか。
- 2 特別養護老人ホームだが、MRSAの菌検査は、どこに依頼したらよいのか。
- 3 家族が老人専門の病院に入院して、MRSA感染者である。看護婦さんたちは手洗い消毒をしてどのようなものか。
- 4 面会に行っている病院でMRSAがかなり出ている。感染しないようにするにはどうしたらよいのか。
- 5 三歳児健検にMRSAで治療中の子供が来ているが心配ないか。
- 6 入院患者にMRSA感染者が出たが、どうしたらよいのか。資料を送ってほしい。

以上のような内容のものが主で、その後、医師会でも研修会が開かれましたし、一般的にも報道がかなりなされたので、必要のない安はかなり薄らいだようです。今回発表させていただきますのに、

保健所で研究する時間ありませんので、佐賀医科大学の只野寿太郎教授のご教示を仰ぎました。戦後、抗生物質の出現で感染症の治療は画期的に進歩しましたが、その反面、菌が突然変異をおこして耐性菌が出てきてしまったこと、その一つが多剤耐性のMRSAであること、院内職員を調べると、かなり高率にMRSAを保有していること、易感染者に感染させないために「一診察行為で一手洗い」を実行すること、MRSA患者を最後に診察すること、免疫不全患者やお年寄り、新生児、その他感染症を起こしやすい患者を同室にしないこと、医療器具

ICUにおける院内感染防止について

東京女子医大中央ICU 婦長 今村 富美子

はじめに  
院内感染の原因菌としてMRSAがスポットライトを浴びていますが、患者さんのための医療を考えるとき、これらは話題にも上らないようにならないければなりません。その対策には看護婦の感染予防に関する意識や行為が重要な役割を占めることを確信しています。

特に医療従事者を介してMRSAが拡散されないように私たちは日常業務の中で工夫、改善をしながらその役割を果たすように努力しております。

今日はICUにおける看護の中で、院内感染防止のために行っていることのごく一部を実例をあげて述べさせていただきます。

次の四項目は、院内感染の中ではその柱ともいわれております。

- 一、呼吸器感染
- 二、創傷感染
- 三、尿路感染
- 四、敗血症

特に呼吸器感染と敗血症については、直接の死因となることがありまして、看護上も注意しなければなりません。

今日はICUにおける看護の中で、院内感染防止のために行っていることのごく一部を実例をあげて述べさせていただきます。

器具の消毒には、それぞれ材質や目的に応じてEOG滅菌、高圧蒸気滅菌、薬液消毒等を行っています。薬液消毒は、グルタルアルデヒドがMRSAに耐性ができないとされているのでおもにこれを使用しています。

吸引用の排液瓶はデイスボ製品を使用しており、終了後は凝固させて医療廃棄物として処理します。

患者さんへの直接の看護に關して

環境を清潔にしていなければMRSA等の細菌が手指や物品に付着して増殖していきまますので、潜在的な感染を低下させることはできません。床の清掃は日常清掃のほか、一年に二回、二日間ICUを全面的に閉鎖して、消毒および清掃の専門業者に依頼し、器械器具を含めた室内の大清掃を行います。同時に室内各所の細菌培養をして効果の判定を行います。

MRSAに感染した患者さんや易感染者の患者さんはほかの患者さんと隔離して個室に収容します。その

患者さんに接するときは、ガウンテクニクをします。また、専用のスリッパを履き、キャップやマスクも一回ごとに取り替えます。一方隔離された患者さんが不安にならないように精神面の看護にも気を配ります。

4 手指に關して  
手指の消毒は感染予防上最も大切なことです。病室では、MRSAに感染している患者さんやそのまわりから出た菌は、人が歩行することによって塵埃とともに空中浮遊菌となって環境を汚染します。そして患者や医療従事者の鼻咽喉や手指を介して増殖しながら再び患者さんへと伝播していきまます。したがって私たちは、患者さんの身のまわりや環境を清潔にして、手指からの接触伝染を予防していかなくてはなりません。

大切なことは処置の前後の手洗いを手抜きせず、忘れずに行うことだと思います。

以上、MRSAを中心に院内感染予防対策について、看護の一部を紹介させていただきます。



方は二名で、他は肝不全と心筋梗塞でした。従って、MRSAが検出されても発症と断定することは難しいばかりか、状態の悪化、死亡の要因は基礎疾患と臓器障害の程度によると思われる。

症例4(表2)は運動機能低下、栄養障害で褥瘡から敗血症となり入院されたのですが、栄養改善と理学療法が効を奏し、褥瘡は縮小し、MRSAも陰性化、退院予定です。

ではこのような危険因子を持った人がたくさん集まっている特養はどのような環境衛生かと申しますと、老人福祉法の規定に従って採光、換気、清掃が行われ、ベッド間隔も一・四メートル以上とゆつたりしており、ベッド周囲をカーテンで囲い簡易隔離の状態となっております。また、入浴、オムツ交換など個人衛生も、東京都の場合は、介護職員配置基準が老人三人に一人の割合で、病室の看護基準特1以上ですので、病院よりゆとりあるお世話ができてお

ります(表3)。

対策といえましては第一に職員教育が挙げられます。

MRSAとは? ①常在菌だが体力低下時体内に入り毒性を発揮する。②健康人にはうつらないが、菌の運び屋になる可能性がある。従って特養の虚弱老人に対しては、その問題点を踏まえて処遇上対処するよう指導しています(表4、表5)。

人工呼吸器を使用している場合の看護ではその80%が痰の吸引であるともいわれます。したがって呼吸器感染予防のためには、無菌的操作による吸引はもちろんのこと、タッピング、体位交換、バイブレーションなどの理学療法を適時に行って痰の咯出を助けたいと思います。

また口腔内を清潔にして気道内に汚染した唾液が流入しないように注意します。

ICU入室の患者さんには多くの点滴ラインやチューブ類が挿入されます。挿入部や三方活栓の取扱いが悪く消毒が十分行われないと感染をおこし、敗血症等のひきがねともなります。特にIVHライン挿入部や三方活栓の消毒はイソジン、消毒用エタノール等で毎日または使用のつど厳重に消毒を行います。

手指の消毒は感染予防上最も大切なことです。病室では、MRSAに感染している患者さんやそのまわりから出た菌は、人が歩行することによって塵埃とともに空中浮遊菌となって環境を汚染します。そして患者や医療従事者の鼻咽喉や手指を介して増殖しながら再び患者さんへと伝播していきまます。したがって私たちは、患者さんの身のまわりや環境を清潔にして、手指からの接触伝染を予防していかなくてはなりません。

大切なことは処置の前後の手洗いを手抜きせず、忘れずに行うことだと思います。

以上、MRSAを中心に院内感染予防対策について、看護の一部を紹介させていただきます。

は高圧ガス滅菌をすること、寝具は交換時に高圧滅菌すること、などを教えていただきました。

日されたとき「結核療養所を社会がお金をつぎこんで作らなければ、結核の蔓延は防げない」と演説してくださったことは、今も変わらないと思います。健康を守るために必要な経費は、社会がつか込み、命が守られますよう祈ります。

めて徐福が蓬萊の国に渡ったという史記の記載と符合するように、日本には徐福伝説があちこちにあり、佐賀には恋物語まで残っています。始皇帝が長寿を憧れた蓬萊の国、日本は、現在世界一の長寿国です。しかしM.R.S.A、エイズ、成人病と問題は山積していて、医学は人類が存在しつづける限り、命を守る一番大切な学問であり続けねばなりません。

### 国際女医会に出席して

名誉会長 三神 美和

いざ友よ国際会議をもち立てん日本女医の力示して  
とづくにのまらうど迎へ最新の老の医療を深くさぐらむ

内外の会員あまた集ひたる開会式はおごそかなりき  
関心の深さを示すしとして一般口演多数集まる

百歳以上老人の剖見所見の講演は会議の花にふきはしと思ふ  
パーティは夜毎に趣向かへられて日本色ゆたかに催されたり

本場より出張なせし阿波踊に会員ともに踊り楽しむ  
数々のシンセサイザの音に合はせダンスに興じて会は終りぬ

とづくにのまらうど迎へ古都の会心のみちて帰るうれしき

〈紅霞六〇号(一九九三・七)掲載〉

### 第四回公開講演会(於・横浜)

神奈川支部 加藤七五三子

本年七月に本部より神奈川支部で公開講演会を開催したらいかがかとおすすめがありました。たびたび小規模ながら学術講演会を催しておりましたが、一般市民を対象にした講演会は、はじめてのこと、不安もありましたが「まあやって見ようではないか」ということで衆議一決開催することになりました。

それからが大変で、まず会場の確保では十数件にあたりましたが、十一月開催予定で交通至便かつよく知られているところという条件では、ほとんどが予約済みで、なかには百二十万円という法外な値段もありました。会員の原先生のご尽力で県民ホールの大会議室を借りることが出来たのは幸運でした。早速手続をし、一月二一日(日)午後一時半より三時半まで、会場は県立県民ホール大会議室と決定、講師は比較的若い人を対象にお話していただくという事で、理事ならびに支部会員の先生方をお願いしてご推薦をいただきました。またおしらせのチラシを入れて先生方にご出席とPRをお願いいたしました。

さて万事ととのったところで天候が心配になりましたが、当日午前中まで降りつづいた雨が嘘のような晴天になりました。

一時半より東京家政大学児童科教授・阿部明子先生の「現在の子どもの心の問題」―小児科における相談を通して―。先生は日本女子大児童学科ご卒業後昭和四十三年より本年三月まで東京女子大小児科にてカウンセラーとして診療に参加されました。その豊富なご経験の中から発達遅滞、自閉症児、拒食、不登校等について多くの事例をあげてお話しくださいました。

そのなかで私も医師に「先生方にお願ひいたします。患者さんと話すときは眼を見てお話しください。特に子どもの場合視線が合うようになるとだんだん改善してゆきます。」と呼びかけられました。まことにありがたいご提言でございました。

二時半より、川崎市宮前保健所吉永陽子先生の「保健所から見た最近のライフスタイル(エイズを含む)」。先生は、一九八六年聖マリアンナ医科大学ご卒業後同大学公衆衛生学教室に所属し、一九八七年川崎市高津

保健所勤務、一九九三年現勤務となされました。エイズ予防最前線の保健所でのカウンセリングを通じ、かなりショックなお話をうかがいました。

二人のベテラン講師のお話は感銘深く、もつと多くの方々に聞いていただきかったと思ひました。当会場は山下公園に面し、人通りも多く、できたら当日チラシを配り派手にPRをしたらよかつたかな、とも思ひ、反省しております。

### 支部だより

#### 埼玉支部だより

埼玉支部 関根 みよ

支部便りをと、本部の再三のご依頼にもかかわらず都合でお願いいたしました事をお詫び致します。

お陰様で試行錯誤をくり返しながら現在にいたりました。会員数九十数名、そのうち役員は、支部長一名、副支部長二名、理事八名、合計十一名で、年四、五回の役員会、年一回の総会、学術講演会、一般公開講演会、大学病院また各施設病院研修会、十二月は、移動役員会等行事を行っ

### 近 詠 (平成五年)

愛知支部 山本 美代子

あぢさゐの花列あでに雨けむる箱根山路とほくつづけり  
雨けむる天城山なみ太鼓おいて踊り子辿りしは遠い日のこと  
癌告知遂に果さずみまかりし媼の安らけき死顔に救はる  
東寺の塔遙かに望む京の街高齢化社会の討論白熱す(国際女医会)  
花が好き旅が好き犬好き人がすき此の平安の何時まで続く

### 私の大学【北海道大学医学部】

宮城支部 小田 泰子

北海道大学(以下北大)の歴史は明治維新とともに始まる。函館五稜郭における戊辰戦争が終わった明治二年、政府は北海道・樺太開発のために開拓使を設置し、戊辰戦争で官軍として戦った黒田清隆を開発庁長官に任命した。黒田は北海道開発のために外国技術の導入が不可欠と考え、明治四年渡米し、開拓顧問と

技術者の招聘につとめた。その招聘に応じて来日した開拓顧問ケブロンは、農業専門学校の設置の必要性を訴え、その結果、明治五年、「開拓仮学校」が東京芝増上寺の一隅に誕生した。これが北大の前身である。この仮学校には女学校が併設された。仮学校は、明治八年札幌に移転し「札幌学校」と改称された。寄宿舎も作られ、食事・服装はすべて洋式であったという。併設の女学校もそのまま移転し、北海道開拓の男子に教

育された。

明治九年八月、アメリカからクラーク、ホイラー、ベンハローの三教授を迎え、共に「札幌農学校」として、アメリカのカレッジと同じカリキュラムをもつ学校として発足した。初期の農学校では、英米の大学の教科書を貸与され、当然、外人教師の講義はすべて英語で行われた。そのノートが残されているが、当時の学生の英語理解力はかなりのものであったことが推定される。

クラーク博士はマサチューセッツ農科大学学長であった。黒田は教員派遣を要請したが、その学長自らが一年の約束とはいえ札幌農学校の創設にあたりわざわざ来日されたことは、その後の北大にとって多大の遺産となった。クラーク博士の教えは、"Boys be ambitious."とともに、北大の開学精神になった。

クラーク博士から直接の薫陶を受けた初期の札幌農学校卒業生には、後に北大総長になった佐藤昌介をはじめ、宮部金吾、内村鑑三、新渡戸稲造等、その後の卒業生には有島武郎等がいる。

クラーク博士によりキリスト教の種は播かれ、明治十五年、札幌独立教会が設立された。「札幌バンド」とよばれる彼らの特徴は、聖書以外には宗教的権威を信じない独特のキリスト教であった。

その遊戯会が近づくに札幌の子供たちは「アッテンション・ドン」と叫んで大路を走りまわったと伝えられている。

明治三十三年には有島武郎作詞の校歌「永遠の幸」がつくられた。

明治四十年四月には古くなった農学校時代の旧寄宿舎が壊され新築され、それと共に名称を「恵迪寮」とし、同時に寮歌が選定された。以来、寮歌は毎年一曲ずつ選定され今日に至っている。明治四十五年寮歌「都ぞ弥生」はあまりにも有名である。

明治四十年六月、札幌農学校は東北帝国大学農学校として東北大学の分校となり大学に昇格した。その年の二月に新設された水産学部は、日本で最初の水産高等教育機関であった。

大正七年、医学部の設置が決まると同時に東北大学から独立し、旧七帝大の一つとして北海道帝国大学が誕生した。医学部の創設は大正九年であった。基礎医学の開講からはじまり、大正十年十一月には付属病院も完成し、徐々にその内容を加えていった。大正十二年関東大震災の折には、北大医学部から看護班を派遣した。

その後工学部、理学部(低温科学研究所)、法文学部などが設置され、戦後の教育改革の一環として国立総合大学に生まれ変わった。

クラーク胸像、ローン、キャンパスを流れる小川、構内の農場、さらにポプラ並木、聳えたツエルムと北

大の構内は、四季折々の表情を持ち、札幌市民の散策と憩いの場として親しまれている。全学部が一つのキャンパスにあるというのは北海道ならではの贅沢であろう。

### 私のトルコ紀行

神奈川支部 稲生 襄

一九九三(平五)年は家の改築で海外旅行どころではないと思っていたが、十一月末には何とか片付いたので、急ぎよ朝日サンツアーズの「西トルコ、古代遺跡の旅」十五日間に申込み、十二月九日成田を出発した。同行は男四、女六の十名で、いずれも海外旅行のベテラン、添乗員もベテランで心強い。

トルコ航空直行便十二時間半で、イスタンブール(旧コンスタンチノープル)着、アタチュルク空港には現地人ガイドのチテム(女性)さんとハルクドライバーが迎えてくれ、これからの十五日間同行のこと。チテムさんはボスポラス大学を出られ、

学で教養課程を終了して、北大医学部を受験し、学生となったものと推測される。当時、北大医学部は二年間の教養課程を修了し、所定の単位を取得したものに解放されており、この状態は昭和三十三年、医学部進学課程が新設されるまで続いた。

平成五年三月、第六十九期生が卒業した。全卒業生一二人中、女子学生一七人、平成六年卒業見込みのものは一四人中一四名とのことである。

英・仏語も達者の上には日本語までも勉強され、昨年七月姉妹都市和歌山県串本を訪問、日本各地を廻ってきたとの二十五歳の張切りガール。

トルコはヨーロッパとアジアにまたがり97%がアジア側、3%がヨーロッパ側とのことはじめて知った。面積七八万平方キロは日本の二倍、人口五七〇〇万人は日本の半分、57%は農村地帯、小麦、綿、煙草、果物が主産物、牧畜は綿羊、地下資源は石灰、鉄、銅、硫黄、石油など。ものすごいインフレで米一ドルは八〇〇トルコリラ(日本円は一円が七〇トルコリラ)。

ボスポラス海峡は二本の橋がかかっており、古い方は英国が二十年前に、新しい方は五年前に日本が作ったとのこと。イスタンブールはブルーモスク、アヤ、ソフィア、トップカッパ宮殿(陶器や世界最大のダイヤモンドやエメラルドの刀剣が有名)、地下宮殿(水の地下倉庫)を見る。

シュリーマンの夢の都トロイの遺跡も面白かった。ベルガモン—アクロポリスと古代の医療センター、アスクレピオンを見学したが昔の精神科医のすばらしさをまざまざと見せつけられた。

エフェソス—エーゲ海岸にのこる最大の遺跡、トラヤヌス帝の泉、ハドリアヌス帝の神殿、図書館、マルスストリート、大円形劇場、聖母マリアの家、商店街跡。

イオニアの十二都市ミレトスや古代の計画都市プリエネ、アポロンの神託所であったデルイイマの遺跡、パムツカレ—綿の城といわれ、石灰岩よりなる広大なまっ白な地表となっていて、温泉が湧いている。コンヤ(人口四〇〇万)ここで一年一回のお祭りを見た。なかなか面白い宗教的な(メヴィナ教団の祭典)男性の施舞が神秘的な音楽によって催され、珍しかった。黒い服をまとい、茶色の帽子をかぶっていたのを急に脱ぎ、白装束で時計の反回りでひたすら三十分以上舞いつづける)舞踊といえは、イスタンブールの軍事博物館でも、赤い衣装で軍楽隊が日本人お馴染みのトルコ行進曲その他

をショーとして長時間見せてくれて、とても楽しかった。遺跡の圧巻は何といってもカッパドキアの奇岩奇石である。蜂の巣のようなカイマクルの地下都市、ギョレメの岩窟教会、行けども行けども奇岩奇石がづく。

アンカラ(人口八〇〇万)トルコの首都である。ここではトルコの国父といわれるアタチュルク廟を見た。実に立派。

アタチュルクなる国父ありしを敬冬のトルコに旅して始めてしれりブルザ(人口二〇〇万)オスマントルコの帝都であった。オスマンとオトルハンの廟をみる。

### 理事会議事録

日時：平成5年9月25日(土)

午後3時30分より

場所：京王プラザホテル  
出席者：山崎、佐藤、白橋、野呂、石原、稲生、中濱、二村、野本、橋川、橋本、平敷、川田、栗原、小出、佐々木、関口、田中、野澤、松井、丸茂、森田、吉崎、大原、土井、藤岡 (以上26名)

欠席者：青井、白浜、明石、小田、佐野、南雲 (以上6名)

議事検討事項  
以下、別紙とおり報告。承認  
追加事項  
○新事務員を理事に紹介。(関 家庭の事情により退職、霜田採用。塚本 結婚のため退職、小林採用。)

○山崎会長より、「議事録は従来庶務に一任していたものを、今後はその都度会長が議事録署名名人を指名し、その理事が責任を持って作成したらいかがか、またその議事録は次の理事会の冒頭に承認を取る方法が良いのではないか」との提言あり。全員賛成で決定。

会計報告 栗原理事  
平成5年7月分、8月分収支別紙とおり報告。承認

各部報告 橋本常任理事  
【学術部】  
平成5年度第1回シンポジウムの開催予定について  
日時：11月23日(火)  
会場：カナダ大使館地下  
東京シテイクラブ  
主題：M.R.S.A—現状と対策—シンポジスト：青木泰子(筑波大講師)、青井禮子(常任理事)、今村富美子(女子医大看護婦長)、太田記代子(鳥栖保健所長)  
会費：五、〇〇〇円(一、〇〇〇円は事業部より補助する)  
以上全員の賛成を得て決定。開

【事業部】 橋川常任理事  
催案内の葉書を早急に手配する。  
年金について  
安田信託銀行より来年2月頃より利率が下がるとの連絡有り、年金パンフレットと年金規定パンフレットを改正するように準備中。  
年金規定については次回理事会で図る予定。  
加入者への知らせ方は一段階方式(利率下がる知らせと個々の利率の下がり方を同時に知らせる)にする。  
今年学位を取得した二五〇名に對しての「年金のお薦め」は新パンフレットができてから、また、現在希望している人には但し書きを添付して現パンフレットで送ることに決定。  
公開講演会について(神奈川支部の後援) 橋川常任理事  
日時：11月21日(日)  
13時30分～15時30分  
場所：神奈川県民ホール  
大会議室  
演題：  
(1)「現代の子供の心の問題」阿部明子(東京家政大教授)  
(2)「保健所からみた最近のライフスタイル—エイズを含む—」吉永陽子(聖マリアンナ医大公衆衛生学研究室)  
「エイズに関する小冊子」について 丸茂理事  
母親、女医、子供の教育の観点から若い人たちにアピールするエ

### 臨時評議員会議事録

日時：平成5年9月25日(土)

午後4時30分より

場所：京王プラザホテル

出席者

評議員：岸、三品、角田、関根、荷見、久田、小宮山、加藤(光)、菅井、長沼、椎原、脇田、桂、相川、井上、上崎、大谷、羽佐田、安田、名取、加藤(七)、小林、野村、内坂、弓場、松本、松浦、上村、加藤(三)、諸井 (以上30名)

理事：山崎、佐藤、白橋、野呂、石原、稲生、中濱、二村、野本、橋川、橋本、平敷、川田、栗原、小出、佐々木、関口、田中、野澤、松井、丸茂、森田、吉崎、大原、土井、藤岡 (以上26名)

議題 定款改正について  
「理事定数を減らし、女医会の各事業に関しては幾つかの委員会を設置して、なるべく多くの会員に運営に参加していただく」という定款改正案の趣旨について出席者に賛否を述べたところ出席評議員全員の賛成を得た。

今後、この意向を受けて改正案の検討をすすめていく。  
副会長(庶務部担当) 佐藤 石原、二村

### 理事会議事録

日時：平成5年11月23日(火)

午後10時30分より

場所：東京シテイクラブ

出席者：山崎、佐藤、青井、石原、稲生、白浜、中濱、二村、橋川、橋本、平敷、小田、川田、栗原、小出、佐々木、佐野、関口、田中、野澤、松井、丸茂、森田、吉崎、大原、藤岡 (以上26名)

欠席者：白橋、野呂、野本、明石、川田、土井 (以上6名)

議事検討事項

庶務報告

会計報告

各部報告

【学術部】

【広報部】

【渉外部】

平敷常任理事 本日の平成5年度第1回シンポジウムの準備完了。野澤理事 第一三六号会誌今月初め発送。第一三七号会誌原稿は12月10日締め切り。松井理事 11月17日労働省婦人局政策課主催「女性問題に関するオピニオンリーダー懇談会」に出席。アジア女性労働交流事業についての報告。11月22日国際婦人年日本対大会の決議を実現するための連絡会主催「世界婦人会議に向けての全体会議」に出席。発展途上国女性行政官との交流、95年北京での世界婦人会議についての報告。

【事業部】 白浜常任理事

10月終りより新年金制度のパンフレット送付している。

21日の公開講演会は神奈川支部諸先生の尽力で無事終了。

平成6年度定時総会

平成6年5月29日(日)

東京、京王プラザホテル

28日総会前夜は評議員とゆつくり会合をもつたとの意見があった。

29日評議員会、選挙、総会、懇親会の開催時刻を検討する。

山崎会長より、東京都支部へ総会開催の依頼をし協力を得たとの報告があった。

今後の予算については都支部と連絡をして決める。

評議員への交通費、宿泊費については総会予算内でのような形で出せるか会計、庶務で検討する。

評議員会は3年毎に交替する旨を各支部に連絡しておく。

会長主催のお茶会を設けてはどうかとの意見があった。

次回理事会へ継続審議。

平成6年度1月理事会について

1月22日、京王プラザホテルで新年会を兼ねて行なう。

定款改正委員会

山崎会長より、「会長が2名の副会長を指名するのは問題ではないかとの指摘があった」との報告があった。

佐藤副会長より、「第3回まで検討された定款改正案は10月常任理事

会議事録3ページに記載されているので、訂正、ご意見等あったら知らせていただきたい、また1月理事会の前にこの件についての確認を得たい」と要望。

大原監事、松井理事、丸茂理事、栗原理事等、次回定款改正委員会に出席との確認をとる。小出理事は文書にて参加。

今後、定款改正委員会を開催する時は全ての理事に連絡する。

吉岡弥生賞、荻野吟子賞選考委員会開催日について

2月の常任理事会の前に招集する。

12月25日まで書類は必ず提出する。

副会長(庶務部担当) 佐藤 石原、二村

会員動静

新卒会員(敬称略)

岩手支部 小松素子

埼玉支部 玉井雅綾

神奈川支部 安藤周子

品川支部 草間香

渋谷支部 関谷秀子

新宿支部 泉原礼子

杉並支部 桑江紀子

都下東支部 近藤亜里

都下西支部 二瓶綾

愛知支部 下方敬子

石川支部 堀口章子

三重支部 大須祥子

京都支部 吉田訓子

兵庫支部 岩井順子

退会会員 二十一名

入会会員(敬称略)

岩手支部 守屋法子

千葉支部 大津智子

神奈川支部 大石環

新宿支部 杉山由理子

中野支部 石黒典子

東女学内支部 加藤多津子

大坂第1支部 堀内政子

物故者(敬称略)

青森支部 徳永恵子

新潟支部 佐藤勇

世田谷支部 巽百合子

東京都下西支部 杉崎千登子

福井支部 福山とし子

三重支部 森田歌子

大阪第3支部 岩瀬節子

兵庫支部 河上雅子

集記 編後

年も改まりまして、諸先生にはまた新たな気持で、ご研究にご診療にご活躍のことと存じます。お忙しいなかをこの一三七号の会誌にご寄稿いただきました先生方に厚くお礼申し上げます。この号は、今盛んに叫ばれていますが「MRS A」について、昨年十一月二十三日に学術部で催していただきましたシンポジウム「MRS A」についてのご講演の内容を載せていますので、ぜひぜひお読みください。MRS Aの原因は、黄色ブドウ球菌が突然変異により種々の薬剤に耐性になったもので、これは、第III世代セフェムの産物といわれています。診療に従事する医師として、治療の難しさを再認識するとともに、投薬にはとくに慎重でなければいけないと痛感いたします。

一時撲滅したかにみえた結核もまた増えつつあり、とくに医療従事者に増えているとか、医療に携わる身として余程注意しなければいけないと存じます。今年も改年、大は決して人を裏切らないと申します。この不況のどん底で政治も大変だと思いますが、政府は国民を裏切らないでほしいと思います。(中濱)

平成6年1月20日 印刷  
平成6年1月25日 発行  
編集人 稲生 妻  
発行人 日本女医学会  
発行所 東京都渋谷区渋谷2-8-7 青山宮野ビル  
社団法人 日本女医学会  
電話 三四九八-〇五七一  
FAX 三四九八-一七六九  
制作 東京都文京区水道1-5-16  
株式会社 金剛出版